

湯口内・松森スキー場アスベスト調査業務委託 仕様書

1. 業務名称

湯口内・松森スキー場アスベスト調査業務委託

2. 対象施設

- ・湯口内スキー場ヒュッテ 北秋田市阿仁水無字湯口内 地内
- ・松森スキー場ヒュッテ 北秋田市阿仁幸屋渡字山根 地内

3. 履行期間

契約日の翌日から令和8年2月27日まで

4. 調査目的

本業務は対象施設に対し、石綿障害予防規則第3条に基づく「事前調査」及び「分析調査」を実施し、石綿等の使用の有無を調査することを目的とする。

5. 試料採取数

55 検体を想定している。(定性分析：49 検体、定量分析：6 検体)

6. 業務内容

(1) 目視調査

ア) 事前調査では、原則として書面調査と現地目視調査を必ず実施することとする。

イ) 書面調査では、設計図書等を確認し、書面上で石綿含有建材の使用場所等を把握する。

ウ) 書面調査に必要な設計図書等については、発注者から貸与することとする（発注者が所有しているものに限る）。

なお、設計図書等がない場合は、現地目視調査のみ実施することとする。

エ) 現地目視調査では、書面調査結果を踏まえて現地で設計図書等と異なる点がないかを確認する。

なお、書面調査で石綿含有建材の使用場所等が把握できない場合は、現地目視調査において確認することとする。

オ) 業務着手前に現地調査を行い、危険と判断した設備等については、調査対象外とする

(2) 建材分析調査

ア) 事前調査（書面調査、現地目視調査）において石綿含有の有無が把握できない場合は、現地で当該建材を採取し、分析調査を行う。

イ) 採取箇所の詳細については、事前調査（書面調査、現地目視調査）を踏まえて選定することとする。

ウ) 建材採取は、破壊検査を可とする。

エ) 分析調査では、石綿定性分析（石綿含有の有無を判定）及び石綿定量分析（石綿含有率を判定）を実施する。

①石綿定性分析

分析方法は、JIS A 1481-1 により行うこと。

なお、仕上塗材については、層別分析を行い、適切な除去作業方法（工法）の選定根拠になるよう努めること。

②石綿定量分析

石綿定性分析において石綿含有と判断された場合に実施するものとする。

分析は JIS A 1481-5 により行うこと。

※①及び②の石綿分析においては、アスベスト分析マニュアル（最新版）に留意して実施すること。

(3) 事前調査及び分析調査における留意事項

本業務においては、事前調査結果及び分析調査結果を総合判断する必要があるため、第三者への再委託をしてはならないこととする。

ただし、ひる石の使用が確認された場合は、発注者との協議により、第三者への再委託を可能とする。

7. 資格要件

本業務においては、次の資格を有する者（計 2 人）を配置すること。

(1) 特定建築物石綿含有建材調査者 2 人

(2) 一般建築物石綿含有建材調査者 2 人

調査目的の観点から、配置できる資格者については、資格取得後 2 年以上経過した者で、受注者との間に直接的かつ恒常的な雇用関係がある者に限る。

8. 成果品

本業務の成果物は次のとおりとし、紙媒体 2 部、PDF データ（CD-R データ）1 部を提出することとする。

(1) 事前調査報告書（調査概要、詳細表）

(2) 石綿分析（定性）結果報告書

(3) 石綿分析（定量）結果報告書（実施した場合のみ）

(4) 試料採取状況写真

(5) その他、必要と認められる資料等

9. その他

(1) 着手にあたっては、着手届、資格要件を確認出来る書類（資格証写し）、その他の必要書類について、事前に提出すること。

(2) 本委託の履行にあたっては、関係する諸法令を遵守すること。

(3) 調査にあたり破壊する箇所等については、発注者と協議すること。

- (4) 受注者は、作業実施にあたり事故の無いよう安全に努めること。
- (5) 破壊検査で発生したボード類の破片、粉碎材等については、現場清掃の上、受注者の責任において適切に処分すること。
- (6) 受注者は、調査内容をはじめ当該業務の情報を外部に漏らしてはならない。
- (7) 本仕様書に定めのない事項及び本仕様書の解釈に疑義が発生した場合は、その都度発注者と受注者で協議のうえ決定する。

以上